

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年7月31日(2008.7.31)

【公表番号】特表2004-501876(P2004-501876A)

【公表日】平成16年1月22日(2004.1.22)

【年通号数】公開・登録公報2004-003

【出願番号】特願2002-505112(P2002-505112)

【国際特許分類】

C 0 7 D 213/53 (2006.01)

B 0 1 J 31/22 (2006.01)

C 0 7 C 2/32 (2006.01)

C 0 7 C 11/02 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 213/53

B 0 1 J 31/22 Z

C 0 7 C 2/32

C 0 7 C 11/02

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月2日(2008.6.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

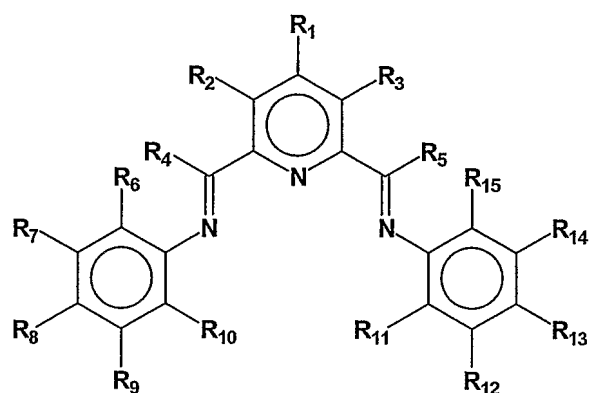
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 式 (V) のビス - アリールイミンピリジン配位子。

【化 1】



(V)

[式中、 $R_1 \sim R_5$ 、 $R_7 \sim R_9$ 、および $R_{12} \sim R_{14}$ は、それぞれ独立に、水素、場合によって置換されたヒドロカルビル、不活性な官能基であり、または互いに隣接する $R_1 \sim R_3$ 、 $R_7 \sim R_9$ 、および $R_{12} \sim R_{14}$ の任意の 2 個は一緒になって環を形成してもよく、 R_6 、 R_{10} 、 R_{11} 、および R_{15} は、同一でフッ素または塩素から選択される]

【請求項 2】 $R_1 \sim R_3$ は水素であり、 R_4 および R_5 はメチルであり、 $R_7 \sim R$

9 および $R_{12} \sim R_{14}$ は水素であり、 R_6 、 R_{10} 、 R_{11} 、および R_{15} はフッ素である請求項1に記載のビス-アリールイミンピリジン配位子。

【請求項3】 $R_1 \sim R_3$ は水素であり、 R_4 および R_5 はフェニルであり、 $R_7 \sim R_9$ および $R_{12} \sim R_{14}$ は水素であり、 R_6 、 R_{10} 、 R_{11} 、および R_{15} はフッ素である請求項1に記載のビス-アリールイミンピリジン配位子。

【請求項4】 $R_1 \sim R_3$ は水素であり、 R_4 および R_5 は水素であり、 $R_7 \sim R_9$ および $R_{12} \sim R_{14}$ は水素であり、 R_6 、 R_{10} 、 R_{11} 、および R_{15} は塩素である請求項1に記載のビス-アリールイミンピリジン配位子。

【請求項5】 請求項1から4のいずれか一項に記載の配位子を含むビス-アリールイミンピリジン MX_n 錯体であって、 M は Fe および Co から選択される金属原子であり、 n は2または3であり、 X はハライド、場合によって置換されたヒドロカルビル、アルコキシド、アミド、または水素化物である該錯体。

【請求項6】 請求項1から4のいずれか一項に記載の配位子を含む [ビス-アリールイミンピリジン $MY_p \cdot L_n^+$] $[NC^-]_q$ 錯体であって、 Y はオレフィンを挿入することができる配位子であり、 M は Fe および Co から選択される金属原子であり、 NC^- は非配位性アニオンであり、 $p+q$ は2または3であり、前記金属原子の正式な酸化に対応し、 L は中性の $Lewis$ ドナー分子であり、 $n=0$ 、1、または2である該錯体。

【請求項7】 アルファオレフィンの生成方法であって、請求項5に記載の1種または複数の錯体をエチレン、および場合によって置換されたヒドロカルビルまたは水素化物基を前記金属原子 M に移動させることができ、また -100 から 300 の温度範囲で X^- 基を前記金属原子から分離することができる第2の化合物と接触させることを含む方法。

【請求項8】 アルファオレフィンの生成方法であって、請求項5に記載の1種または複数の錯体をエチレン、および場合によって置換されたヒドロカルビルまたは水素化物基を前記金属原子 M に移動させることができる第2の化合物、および X^- 基を前記金属原子から引き抜くことができる第3の化合物と -100 から 300 の温度範囲で接触させることを含む方法。

【請求項9】 アルファオレフィンの生成方法であって、請求項6に記載の1種または複数の [ビス-アリールイミンピリジン $MY_p \cdot L_n^+$] $[NC^-]_q$ 錯体を -100 から 300 の温度範囲でエチレンと接触させることを含む方法。

【請求項10】 前記錯体をアルファオレフィンの生成に適切に使用できる1種または複数の追加の錯体と接触させる請求項7から9のいずれか一項に記載の方法。